

電話

3

通話方法とオプションサービスについて	3-2		
音声電話	3-4		
音声電話をかける	3-4		
音声電話を受ける	3-4		
通話中の操作	3-5		
TV コール	3-6		
TV コールをかける	3-7		
TV コールを受ける	3-7		
お気に入り	3-9		
お気に入りに登録する	3-9		
お気に入りから電話をかける	3-9		
お気に入りからメールを送信する	3-9		
緊急電話発信	3-9		
簡易留守録	3-10		
簡易留守録を設定／解除する	3-10		
録音した用件を確認する	3-11		
録音した用件を削除する	3-11		
着信拒否	3-11		
着信中の電話を拒否する	3-11		
電話番号を指定して着信を拒否する	3-11		
電話帳以外の電話番号からの着信を拒否する	3-12		
非通知の相手からの着信を拒否する	3-12		
公衆電話からの着信を拒否する	3-12		
電話番号が通知不可能な相手からの着信を拒否する	3-12		
通話履歴／ランキング	3-12		
通話履歴を確認する	3-12		
ランキングを確認する	3-13		
		通話履歴／ランキングから電話をかける	3-13
		通話履歴を削除する	3-14
		ランキングをリセットする	3-14
		通話時間／通話料金／データ通信量などの確認	3-14
		日本から海外へ電話をかける	3-15
		海外での利用（世界対応ケータイ）	3-15
		ネットワークモードを切り替える	3-15
		ネットワークを設定する	3-16
		海外で電話をかける	3-17
		オプションサービス	3-18
		留守番電話サービス	3-18
		転送電話サービス	3-20
		割込通話サービス	3-21
		グループ通話サービス	3-22
		発着信規制サービス	3-22
		発信者番号通知サービス	3-24
		便利な機能	3-24
		電話に関する便利な機能	3-24
		TV コールに関する便利な機能	3-26
		通話履歴／ランキングに関する便利な機能	3-28
		グループ通話サービスに関する便利な機能	3-28

通話方法とオプションサービスについて

本機では、音声通話をするだけでなく、TV コールをかけたり、お気に入りに登録することで簡単に電話をかけることもできます。また、留守番電話、転送電話など様々なオプションサービスを利用することもできます。

この章では、電話のかけ方とオプションサービスについて説明します。

3

電話

通話の種類

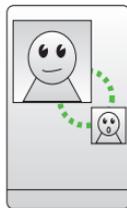
本機では、次の方法で通話することができます。

- 音声通話



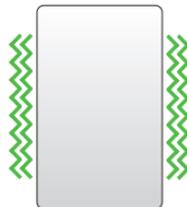
音声のみを使って通話します (☎P.3-4)。

- TV コール



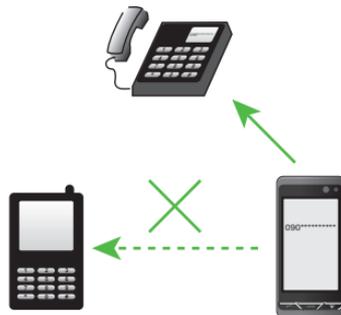
お互いの顔を見ながら通話できます。相手の機種も TV コールに対応している必要があります (☎P.3-6)。

電話に出られないときには



本機に着信中、電話に出られないときには簡易留守録などの機能を使用できます (☎P.3-10)。

また、電源を切っていたり、電波の届かないところで着信した場合に留守録を残したり、電話を転送するオプションサービスもあります (☎P.3-18)。



留守番電話のイメージ

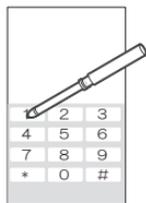
また、次のような機能を利用することもできます。

グローバルな通話

本機は、世界対応ケータイに対応しています。別途お申し込みいただくと、日本だけでなく世界でも本機をご使用できます (☎P.3-15)。また、国際電話も発信できますので、世界中で世界中の人々と通話を楽しめます。

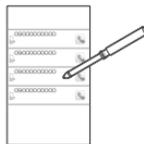


素早く電話をかける (お気に入り)



お気に入りを使うと、よく電話をかける相手に簡単な操作で電話をかけることができます (☎P.3-9)。

通話履歴の利用



通話相手や、通話時間を確認できます。また、発信のランキングを確認できます (☎P.3-12)。

様々なオプションサービスの利用

留守番電話、転送電話など様々なオプションサービスを利用できます (☎P.3-18)。



転送電話のイメージ

音声電話

ここでは、音声通話のかけ方、受け方、および通話中の操作について説明します。

3

電話

音声電話をかける

ここでは、電話番号を直接入力して音声電話をかける方法について説明します。電話帳から音声電話をかける場合は「電話帳から電話をかける」(P.2-23)を参照してください。

1 (1秒以上) / 《電話》の「ダイヤル」→電話番号全桁(市外局番を含む)を入力



電話番号入力画面

2 電話番号を確認→ / 「発信」

3 通話終了→

- 電話番号を間違えたときは「消去」をタップまたは  を押します。「消去」をホールドまたは  を1秒以上押すと、すべての数字が消えます。
- 電話番号として「P(ポーズ)」を入力するには、 を2回タップします。「+(国際コード)」を入力するには、 をホールドします。
- 相手がお話し中のときは、 を押して電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。「オートリダイヤル」(P.14-11)を「On」に設定している場合は、自動的に電話を切ってリダイヤルする動作が繰り返されます。リダイヤルを停止するには、《キャンセル》をタップまたは  を押します。
- イヤホンマイク(オプション品)を接続している場合は、「イヤホン通話」を「On」に設定すると、イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押すだけで指定した電話番号に電話をかけることができます。電話を切るときもスイッチを1秒以上押します。
- 自動音声サービスなどでガイダンスに従って数字を入力するときは、《ダイヤル》を押してキーパッドを表示してから数字をタップします。

音声電話を受ける

ここでは、かかってきた電話を受ける方法について説明します。

1 着信中に



2 通話終了→

- 着信中に応答せずに保留にするには、 を押します。保留を終了して通話をするには、保留中に《応答》をタップまたは  を押します。
- 着信音量を調節するには、着信中に  を押します。
- イヤホンマイク(オプション品)を接続しているときは、着信中にイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押しても音声電話を受けられます。電話を切るときもスイッチを1秒以上押します。
- 電話に出なかったときは、不在着信としてお知らせします。通知をタップすると、着信履歴(P.3-12)を確認できます。

- 相手の電話番号が電話帳に登録され、個別またはグループごとの着信音が設定されている場合は、設定されている着信音が鳴ります(●P.2-26、P.2-28)。それ以外の場合は、モードごとに設定されている着信音が鳴ります(●P.1-21)。セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」の場合で、電話帳のシークレットモードが「シークレットモード-On」の相手から着信があったときは、モードごとに設定されている着信音が鳴ります。
- 相手が電話番号を通知してかけてきたときは、ディスプレイに電話番号が表示されます。電話番号が電話帳に登録されている場合は、登録されている名前が表示されます。相手が電話番号を通知してこなかった場合は、「非通知設定」と表示されます。電話帳やグループに着信画像が設定されている場合は、画像も表示されます(●P.2-28)。セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」の場合で、電話帳のシークレットモードが「シークレットモード-On」の相手から着信があったときは、名前や画像は表示されません。
- 電話に出られないときは、転送電話サービスまたは留守番電話サービスをご利用になれます。着信中に《転送》をタップすると、すぐに転送先または留守番電話サービスセンターに転送できます(●P.3-18、P.3-20)。また、着信中に《簡易留守録》をタップすると、すぐに簡易留守録を利用することができます(●P.3-10)。

通話中の操作

ここでは、通話中に使う操作方法について説明します。

通話音量を調節する

通話中に相手の声の音量を調節できます。

1 通話中



2 /

- 受話口やイヤホンマイク（オプション品）のイヤホンから聞こえる相手の声の大きさを調節できます。変更した音量は、電源を切っても保持されています。

着信を保留する

相手との通話を保留にして、あとから保留を終了して通話を再開することができます。

1 通話中に「保留」

- 保留中は相手に保留音が流れ、双方の声が聞こえなくなります。
- 通話に戻るときは「保留」をタップします。
- 通話中の一時保留をご利用になるには、割込通話サービス(●P.3-21)もしくはグループ通話サービス(●P.3-22)へのお申し込みが必要です。万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承ください。

通話を録音する

通話中に相手の声を録音できます。

1 通話中



2 「音声録音」

3 録音終了→

- 通話中にボイスレコーダーを利用して、相手の声を録音できます。最長2分間録音できます。
- 録音中に一時停止する場合はをタップします。録音を再開する場合は、一時停止したところまで保存する場合は「保存」をタップします。
- 録音された音声ファイルは、データフォルダの「着うた・メロディ」フォルダに保存されます。
- 割込通話サービスをご利用の場合、録音中に他の相手から電話がかかってくると、録音を終了して着信画面を表示します。
- 録音中に電話が切れると録音が自動的に終了し、音声が入力されます。

メモを作成する

通話中にメモを作成できます。

1 通話中



- 2 《その他》→「メモ帳」→《新規作成》→メモを入力→カテゴリ欄を選択→カテゴリを選択→《保存》

使いこなしチェック!

便利 (P.3-24)

- 入力した電話番号を電話帳に登録したい
- 入力した電話番号を宛先としたメールを作成したい
- 自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい
- 音声の送信を設定したい
- 通話中にスピーカーホン通話に切り替えたい
- 小さい声で通話したい
- ヘッドセットでの通話と本体での通話を切り替えたい
- 通話中に電話帳を検索したい
- 通話中にお気に入りを検索したい
- 通話中に各種機能を操作したい

設定

- 電話番号を指定して着信の許可/拒否を設定する (P.14-10)
- 着信拒否する電話番号を登録する (P.14-10)
- 電話帳に登録していない番号からの着信の許可/拒否を設定する (P.14-10)
- 非通知着信の許可/拒否を設定する (P.14-10)
- 公衆電話からの着信の許可/拒否を設定する (P.14-10)
- 電話番号が通知不可能な着信の許可/拒否を設定する (P.14-10)
- 発信者番号の通知/非通知を設定する (P.14-10)
- 話し中だった相手に自動的にリダイヤルする (P.14-11)

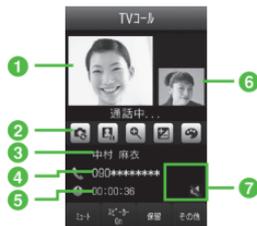
TV コール

TV コールに対応している携帯電話との間で、お互いの映像を見ながら通話できます。ここでは、TV コールのかけ方、受け方の操作について説明します。

- スピーカーホン通話 (P.3-26) 中は、受話音量を大きくすると会話しづらくなることがあります。この場合は音量を下げるか、イヤホンマイク (オプション品) をお使いになることをおすすめします。
- 周囲の騒音が大きい場所では、音声が届かないなど良好な通話ができないことがあります。この場合はイヤホンマイク (オプション品) をお使いになることをおすすめします。
- スピーカーホン通話のときは、相手の音声はスピーカーから流れます。ほかの人の迷惑にならないようご注意ください。

注意

- ソフトバンクのTV コールと異なる方式の携帯電話と接続した場合に、通話が切れることがあります。このときも、切れるまでの通話料金が課金されます。



- ① 大画面（通常は相手の映像）
タップすると、小画面と表示を切り替えることができます。
- ② 操作アイコン
 - ：アウトカメラに切替/サブカメラに切替
 - ：自画像の送信を一時停止/再開
 - ：ズーム調整
 - ：明るさ調整
 - ：エフェクト
- ③ 相手の名前
- ④ 電話番号
- ⑤ 通話時間
- ⑥ 小画面（通常は自分の映像）
タップすると、大画面と表示を切り替えることができます。
- ⑦ 状態アイコン
 - ：ヘッドセットに切替
 - ：私の音声ミュート On
 - ：スピーカー Off / スピーカー On

TV コールをかける

ここでは、電話番号を直接入力してTVコールをかける方法について説明します。電話帳からTVコールをかける場合は「電話帳から電話をかける」(P.2-23)を参照してください。

- ① (1秒以上) → 電話番号全桁 (市外局番を含む) を入力
- ② ≪ TV コール ≫
- ③ 通話終了 →

・TVコールが繋がらなかったときの操作メニュー操作をうながす確認メッセージが表示されたときは「リトライ」を選択し、「音声電話」を選択して音声電話でかけ直したり、「メール作成」を選択して相手にメールを送信したりできます。「電話帳登録」を選択すると、相手の電話番号を本体またはUSIMカードの電話帳に登録できます。もう一度かけるときは「TVコール」を選択してください。

TV コールを受ける

- ① TV コール着信中に
 - ・自画像を送信するかどうかの確認メッセージが表示されたときは、「はい」 / 「いいえ」を選択します。
- ② 通話終了 →
 - ・TVコール着信中に応答せずに保留にするには、≪ 応答保留 ≫ をタップまたは を押します。保留を終了してTVコール通話を開始するには、保留中に≪ 応答 ≫ をタップまたは を押します。
 - ・着信音量を調節するには、TVコール着信中に / を押します。
 - ・イヤホンマイク（オプション品）を接続している場合は、TVコール着信中にイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押しでも受けられます。TVコールを切るときもスイッチを1秒以上押します。
 - ・TVコールに応答せずに切るには、≪ 転送 ≫ または ≪ 着信拒否 ≫ をタップします。
 - ・操作 ① で を押した直後には自分の映像が大画面に表示されますが、この映像は相手に送信されていません。確認メッセージが表示された場合、自画像を送信するときは「はい」、代替画像を送信するときは「いいえ」を選択してください。選択操作後、TVコール通話が開始されると、小画面に自画像または代替画像が表示されます。
 - ・受話音量を調節するには、TVコール中に / を押します。

使いこなしチェック!

便利 ① P.3-26

- 自分の電話番号を通知するかどうかを設定して TV コールをかけたい
- TV コール中に音声の送信を設定したい
- TV コール中にスピーカーホン通話に切り替えたい
- TV コール通話を保留にしたい
- 送信する画像を切り替えたい
- TV コール中の画像の表示を切り替えたい
- 相手画像を一時停止／再生したい
- ヘッドセットでの通話と本体での通話を切り替えたい
- TV コール着信を自動で受ける相手を指定したい
- TV コール着信の自動応答に指定した相手を削除したい
- プッシュトーンを送信したい
- TV コール中にメモを作成し、保存したい
- TV コール中に電話帳を検索したい
- 通話中にメールを作成したい

設定

- 自画像の代わりに送信する代替画像をお買い上げ時の画像に設定する (① P.14-8)
- 自画像の代わりに送信する代替画像を設定する (① P.14-8)
- TV コール中の相手画像の画質を調整する (① P.14-9)
- TV コール中の自画像の画質を調整する (① P.14-9)
- TV コール中の保留画像をお買い上げ時の画像に設定する (① P.14-9)
- TV コール中の保留画像について設定する (① P.14-9)
- TV コールに応答保留する際の画像をお買い上げ時の画像に設定する (① P.14-9)
- TV コールに応答保留する際の画像について設定する (① P.14-9)
- TV コール中の音声の送信について設定する (① P.14-9)
- TV コール中にスピーカーを利用するかどうかを設定する (① P.14-9)
- TV コール中のバックライトの明るさを設定する (① P.14-9)
- TV コールがつかならなかったときの動作を設定する (① P.14-9)
- 指定した相手からの TV コール着信を自動で受ける (① P.14-9)
- TV コール着信を自動で受ける相手を指定する (① P.14-10)
- TV コール発信時の自画像の送信について設定する (① P.14-10)

- 電話番号を指定して着信の許可／拒否を設定する (① P.14-10)
- 着信拒否する電話番号を登録する (① P.14-10)
- 電話帳に登録していない番号からの着信の許可／拒否を設定する (① P.14-10)
- 非通知着信の許可／拒否を設定する (① P.14-10)
- 公衆電話からの着信の許可／拒否を設定する (① P.14-10)
- 電話番号が通知不可能な着信の許可／拒否を設定する (① P.14-10)
- 発信者番号の通知／非通知を設定する (① P.14-10)
- 話し中だった相手に自動的にリダイヤルする (① P.14-11)
- 着信音調節機能を設定する (① P.14-11)
- イヤホン通話を使う (① P.14-11)
- 通話中の音量を調節する (① P.14-11)
- 着信時の応答方法を設定する (① P.14-32)

お気に入り

よく電話をかける相手や、よくメールを送信する相手をお気に入りに登録すると、簡単な操作で電話／メールをすることができます。

お気に入りに登録する

お気に入りは電話番号を20件、メールアドレスを20件登録できます。

1 《電話》→「お気に入り」



3 《追加》

4 電話帳を検索し、選択 (P.2-22)

- 1つの電話帳に複数の電話番号／メールアドレスが登録されている場合は、電話番号／メールアドレスを選択する画面が表示されます。

- 登録した電話番号／メールアドレスを解除するときは、《電話》→「お気に入り」→ / →《解除》→解除したい相手をチェック→《解除》→「はい」を選択します。
- 「シークレットモード-On」に設定している電話帳は、お気に入りに登録できません。
- すでにお気に入りに登録されている電話帳を、「シークレットモード-On」に設定した場合はお気に入りから自動的に削除されます。

お気に入りから電話をかける

1 《電話》→「お気に入り」



3 電話をかける相手の

- 操作 1 のあと、電話をかける相手を選択→をタップすると「音声発信」／「TV コール発信」／「国際発信」／「コピーしてダイヤル」／「メール作成」が選択できます。
- 待受画面で上から下にスワイプしてもお気に入りを表示できます。

お気に入りからメールを送信する

1 《電話》→「お気に入り」



3 メールを送信する相手の

- 操作 1 のあと、メールを送信する相手を選択→をタップすると「音声発信」／「TV コール発信」／「国際発信」／「コピーしてダイヤル」／「メール作成」が選択できます。
- 待受画面で上から下にスワイプしてもお気に入りを表示できます。

緊急電話発信

緊急電話発信とは、緊急時に使用する電話発信「110 (警察)」「119 (消防)」「118 (海上保安部)」のことです。本機で発信の制限などを設定している場合、緊急電話発信の可否は次のとおりです。

本機の状態	緊急電話発信
電波 Off モード中 (P.1-20)	不可
通話料金上限 (P.14-8) を超過したとき	「110」「119」「118」可
電源 On 時ロック中 (P.11-4)	不可
パスワードロック中 (P.11-4)	「110」「119」「118」可
PIN 認証 (P.11-4) で、未認証のとき	不可
USIM 照合 (P.11-5) で、未認証のとき	不可
発信規制中 (P.3-23)	「110」「119」「118」可

緊急通報位置通知について

緊急通報位置通知とは、本機から緊急通報を行った場合、発信した際の位置の情報を緊急通報受理機関（警察など）に対して通知するシステムです。

本機では受信している基地局測位情報をもとに算出した、位置情報を通知します。

- 発信場所や電波の受信状況により、正確な位置が通知されないことがあります。緊急通報受理機関に対して、必ず口頭で発信場所や目標物をお伝えください。
- 基地局測位情報の精度は、数 100m ～ 10km 程度となります。また、実際の位置とは異なった位置情報が通知される場合があります（遠方の基地局電波を受信した場合など）。
- 緊急通報位置通知機能は、接続先となる緊急通報受理機関が、位置情報を受信できるシステムを導入したあと、ご利用いただけるようになります。
- 「184」を付けて、「110」「119」「118」の緊急通報番号をダイヤルした場合などは、緊急通報受理機関に位置情報は通知されません。ただし、緊急通報受理機関が人の生命などに差し迫った危険があると判断した場合には、同機関が発信者の位置情報を取得する場合があります。
- 申し込み料金、通信料は一切ありません。

注意

- 海外でのご利用にあたっては、無線ネットワークや無線信号、本機の機能の設定状態によって動作が異なるため、すべての国や地域での接続を保証するものではありません。

簡易留守録

電話に出られないとき、相手の用件を本機自体に録音できます。用件は 1 件につき最長 15 秒間録音でき、3 件まで保存できます。

簡易留守録を設定／解除する

- 1 ≪メニュー≫ → 「設定」 → 「通話設定」 → 「簡易留守録」
- 2 「On/Off」の「On」／「Off」

- 簡易留守録を設定すると、ディスプレイに  が表示されます。
- 留守録された電話は、着信履歴として記録されます。

注意

- 電波の届かない場所にいるときや本機の電源を切っているとき、電波 Off モード中は、簡易留守録を利用できません。着信ができない状況の場合は、オプションサービスの留守番電話サービスをご利用ください。
- 本機のメモリ残量が 600K バイトより少ない場合は、簡易留守録を利用できません。

録音した用件を確認する

- 1 「メニュー」→「電話機能」→「簡易留守録再生」
- 2 用件を選択

- 簡易留守録に伝言メッセージが録音されると、ディスプレイに  が表示されます。
- 待受画面で  を 1 秒以上押しても、録音された用件を確認できます。
- 待受画面で  →「簡易留守録」を選択しても、録音された用件を確認できます。
- 待受画面で「メニュー」→「設定」→「通話設定」→「簡易留守録」→「留守録再生」を選択しても、録音された用件を確認できます。

録音した用件を削除する

- 1 「メニュー」→「電話機能」→「簡易留守録再生」→「削除」
- 2 削除したい用件をチェック
→「削除」→「はい」

- 「簡易留守録」から用件は削除されますが、「着信履歴」には「音声通話の不在着信」として記録が残ります。

着信拒否

着信中の電話を拒否する以外にも、特定の相手からの電話を拒否したり、知らない番号からの電話を拒否したりできます (P.14-10)。

着信中の電話を拒否する

1 着中に「拒否」

- 拒否した電話は、着信拒否履歴として記録されます。
- 転送電話サービスまたは留守番電話サービスをご利用になっていない場合は、着中に「転送」をタップすると、着信を拒否します。このとき相手のディスプレイには、都合により通話ができないという旨のメッセージが表示されます。ただし、相手がこの機能に対応していない場合は、メッセージ表示されません。

電話番号を指定して着信を拒否する

- 1 「メニュー」→「設定」→「通話設定」→「着信拒否」
- 2 「電話番号指定」→「On/Off 設定」の「On」

- 着信拒否に登録した電話番号からかかってきたとき、話中音を流し電話を受けません。待受画面には「不在着信通知」と表示してお知らせします。通知を選択すると着信履歴を確認できます。
- 指定している電話番号の着信を許可する場合は、「On/Off 設定」の「Off」を選択してください。

3 「拒否リスト」

- 4 「追加」→項目を選択
→電話番号の登録操作
(P.14-10)

- 登録した電話番号を削除するには、「拒否リスト」を選択後、「削除」→削除したい電話番号をチェック→「削除」→「はい」を選択します。

電話帳以外の電話番号からの着信を拒否する

- 1 «メニュー»→「設定」→「通話設定」→「着信拒否」
- 2 「電話帳以外」の「On」
 - 電話帳に登録していない電話番号の着信を許可する場合は、「電話帳以外」の「Off」を選択してください。

非通知の相手からの着信を拒否する

- 1 «メニュー»→「設定」→「通話設定」→「着信拒否」
- 2 「非通知」の「On」
 - 非通知着信を許可する場合は、「非通知」の「Off」を選択してください。

公衆電話からの着信を拒否する

- 1 «メニュー»→「設定」→「通話設定」→「着信拒否」
- 2 「公衆電話」の「On」
 - 公衆電話からの着信を許可する場合は、「公衆電話」の「Off」を選択してください。

電話番号が通知不可能な相手からの着信を拒否する

- 1 «メニュー»→「設定」→「通話設定」→「着信拒否」
- 2 「通知不可」の「On」
 - 電話番号が通知不可能な着信を許可する場合は、「通知不可」の「Off」を選択してください。

通話履歴／ランキング

通話履歴には、着信履歴（かかってきた電話の履歴）と発信履歴（かけた電話の履歴）があります。ランキングには、発信履歴のランキングを表示します。それぞれの履歴／ランキングから相手の電話番号や通話時間などを確認したり、履歴／ランキングを利用して電話をかけたりすることができます。着信履歴、発信履歴はそれぞれ500件まで記録されます。ランキングは10件まで記録されます。

通話履歴を確認する

- 1  / «電話»の「通話履歴」→「着信履歴」 / 「発信履歴」



一覧画面
(着信履歴の場合)

2 確認したい履歴を選択

•履歴一覧のアイコン

履歴一覧には、音声電話、TV コールを識別するアイコンが表示されます。

-  : 音声通話発信
 -  : TV コール発信
 -  : 音声通話着信
 -  : TV コール着信
 -  : 音声通話の不在着信
 -  : TV コールの不在着信
 -  : 音声電話の着信拒否
 -  : TV コールの着信拒否
 -  : 留守番電話のお知らせ
 -  : 着信のお知らせ
 -  : 簡易留守録
- セキュリティ設定のシークレットモードを「表示しない」に設定しているとき、「シークレットモード-On」に設定されている電話帳は、履歴には電話帳に登録された名前などの情報は表示されません。
- 待受画面から《メニュー》→「電話機能」→「通話履歴」→「着信履歴」／「発信履歴」でも確認することができます。

ランキングを確認する

- 1  / 《電話》の「通話履歴」
→「ランキング」



一覧画面

2 確認したいランキングを選択

- セキュリティ設定のシークレットモードを「表示しない」に設定しているとき、「シークレットモード-On」に設定されている電話帳は、履歴には電話帳に登録された名前などの情報は表示されません。
- 待受画面から《メニュー》→「電話機能」→「通話履歴」→「ランキング」でも確認することができます。

通話履歴／ランキングから電話をかける

- 1  → 「着信履歴」／「発信履歴」／「ランキング」
→目的の履歴／ランキング
を選択→目的の電話番号の



2 電話の発信操作

- 音声電話をかけるとき
「音声発信」
- TV コールをかけるとき
「TV コール発信」
- 国際電話をかけるとき
「国際発信」→発信先の国を選択／「ユーザ入力」を選択して国番号を入力→
- 番号を編集してかけるとき
「コピーしてダイヤル」→選択した電話番号を編集→「発信」／《国際発信》(☎P.3-15日本から海外へ電話をかける)／《TV コール》

•一覧画面で目的の履歴のをタップしても、音声電話をかけることができます。

通話履歴を削除する

- 1  → 「着信履歴」 / 「発信履歴」
- 2 ≪削除≫ → 削除したい履歴をチェック → ≪削除≫ → 「はい」

- 通話ごとの履歴を確認し、削除するときは、操作 1 のあと、削除したい履歴を選択 → 履歴を確認後 ≪削除≫ → 「はい」を選択します。
- すべての履歴を削除するときは、操作 1 のあと、≪削除≫ → 「全チェック」 → ≪削除≫ → 操作暗証番号を入力 → ≪OK≫ → 「はい」を選択します。

ランキングをリセットする

- 1  → 「ランキング」
- 2 ≪ランキングリセット≫ → リセットしたいランキングをチェック → ≪リセット≫ → 「はい」

- すべてのランキングをリセットするときは、操作 1 のあと、≪ランキングリセット≫ → 「全チェック」 → ≪リセット≫ → 操作暗証番号を入力 → ≪OK≫ → 「はい」

使いこなしチェック!

便利 P.3-28

- 通話履歴／ランキングの電話番号が登録されている電話帳の詳細画面を確認したい
- 通話履歴／ランキングの電話番号を電話帳に登録したい
- 通話履歴／ランキングの電話番号を着信拒否リストに追加したい

通話時間／通話料金／データ通信量などの確認

「通話後料金表示」は、ご契約の内容によりご利用になれない場合があります。また、「通話後料金表示」がご利用にならない場合、「通話料金上限設定」もご利用になれません。

通話データ管理の各項目から、次の操作ができます。

設定	設定内容
累積	累積通話時間、累積通話料金の目安を確認、リセットできます。
直前の通話	前回の通話時間、通話料金の目安を確認、リセットできます。
累積データ通信量	累積送信データ量、累積受信データ量の目安を確認、リセットできます。
通話後料金表示	通話終了後に通話料金を表示するかどうか設定します。
通貨設定	通貨単位の変更ができます。
通話料金上限設定	通話料金の上限の設定ができます。

1 《メニュー》→「設定」→「通話設定」→「通話時間・料金」

2 確認したい項目を選択

- 確認した項目をリセットするには、《リセット》をタップします。

使いこなしチェック!

設定

- すべての通話の合計通話時間／合計通話料金を確認する (☞P.14-7)
- 前回の通話時間／通話料金を確認する (☞P.14-7)
- 累積データ通信量を確認する (☞P.14-7)
- 通話終了後に通話料金を表示するかどうか設定する (☞P.14-8)
- 通話料金の通貨単位を変更する (☞P.14-8)
- 通話料金の限度額を設定する (☞P.14-8)
- 通話料金の限度額の設定を解除する (☞P.14-8)

日本から海外へ電話をかける

日本から国際電話をかけることができます。

1 (1秒以上) / 《電話》の「ダイヤル」→電話番号全桁(市外局番を含む)を入力

2 《国際発信》→発信先の国を選択 / 「ユーザ入力」を選択して国番号を入力

3 電話番号を確認→「発信」

- 海外にいる相手のソフトバンク携帯電話へは、相手のいる国にかかわらず電話番号だけでかけることができます。

海外での利用 (世界対応ケータイ)

海外でのご利用の詳細については、『世界対応ケータイサービスガイド』またはソフトバンクモバイルホームページ (<http://www.softbank.jp>) を参照してください。

海外にお出かけになるときは、『世界対応ケータイサービスガイド』を携帯してください。

ネットワークモードを切り替える

ネットワークモードとは、携帯電話機の通信方式(3GやGSM)を利用した状態を示します。利用するネットワークの切り替え方を設定します。

お買い上げ時は自動的にネットワークモードが切り替わるように設定されています。手動で特定のネットワークモードを選択するように設定することもできます。

1 《メニュー》→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「国際設定」→「3G/GSM 選択」

2 設定の選択操作

- 自動的にネットワークモードを選択させるとき
「自動」
- 手動で特定のネットワークモードを選択するとき
「手動」→「3G/GSM」／「3G」
／「GSM」

• ネットワークモードの設定

「自動」:

お使いの場所（ネットワークの状態）に応じて、自動的にモードが切り替わる
「3G」:

日本国内と海外の3G/UMTS サービスエリアで使用できるモード

「GSM」:

海外のGSM サービスエリアで使用できるモード

- 通常は「自動」に設定してお使いになることをおすすめします。

ネットワークを設定する

ネットワークには、代表的なものにSoftBank 3Gとしてご提供している第三世代の3Gや多くの国で標準として使用されているGSMがあります。

接続するネットワークを選択する

ご利用になる地域によって、ネットワーク（事業者）を切り替える必要があります。「手動」で切り替えることもできます。

- 1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「国際設定」→「事業者設定」→「自動・手動選択」

2 設定の選択操作

- 自動的にネットワークを選択させるとき
「自動」
- 特定のネットワークを選択するとき
「手動」→ネットワークを選択

優先されるネットワークを設定する

ネットワーク選択を「自動」に設定したときに、優先的に選択されるネットワークの一覧を編集できます。

- 1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「国際設定」→「事業者設定」→「優先度リスト」

2 優先度リストの編集操作

- ネットワークリストから選択して追加するとき
≪追加≫→「ネットワークリスト」→追加したいネットワークを選択
- ネットワークを新規追加するとき
≪追加≫→「新規ネットワーク」→国番号欄をタップ→国番号を入力→ネットワークコード欄をタップ→ネットワークコードを入力→ネットワーク名欄をタップ→ネットワーク名を入力→ネットワークタイプ欄をタップ→「GSM」／「3G」→≪追加≫

- 新規追加すると、一覧の最初にネットワークが追加されます。
- 操作 ① のあと、《並べ替え》をタップすると優先順位を変更できます。変更したいネットワークをホールドし、選択されたのを確認後ドラッグして変更したい位置へドロップし、《OK》をタップします。
- 操作 ① のあと、《削除》→削除したいネットワークを選択→「はい」を選択するとネットワークを削除できます。
- 「新規ネットワーク」で設定できる項目は次のとおりです。
「国番号」：最大 3 桁
「ネットワークコード」：最大 3 桁
「ネットワーク名」：最大 20 文字
「ネットワークタイプ」：GSM/3G から選択

海外で電話をかける

海外での緊急通報は、無線ネットワークや無線信号、本機の機能設定状態、USIMの状態によって動作が異なるため、すべての国やエリアでの接続を保証できるものではありません (●P.3-9)。

1 (1 秒以上) / 《電話》の「ダイヤル」→電話番号を全桁 (市外局番を含む) 入力→

2 電話の発信操作

- 日本へ電話をかけるとき
「日本へ」
- 滞在国内へ電話をかけるとき
「滞在国内の番号へ発信」
- 日本以外の国へかけるとき
「他国番号付加」→発信したい国を選択
- 入力した番号にそのまま電話をかけるとき
「このまま発信」
- 「今後この機能を使用しない」をチェックした場合、または「海外発信アシスト」を「Off」にした場合は、操作不要です。

- 国番号などを直接入力して電話をかけるには、**+0** をホールドして「+」を入力します。続けて国番号、先頭の「0」を除いた電話番号の順に入力して  を押すと発信できます。イタリアに電話をかける場合、先頭に「0」があるときは除かずにそのまま電話番号を入力します。
- 電話番号の最初に「+国番号」が付く場合は、操作 ② が不要です。

使いごなしチェック!

設定

- ネットワークモードを切り替える (☞P.14-6)
- 国際コードを登録する (☞P.14-7)
- 国番号を追加/編集/削除する (☞P.14-7)
- 接続するネットワークを選択する (☞P.14-7)
- 優先されるネットワークをリストから設定する (☞P.14-7)
- 優先されるネットワークを新規追加する (☞P.14-7)
- 海外発信アシストを設定する (☞P.14-7)
- ネットワーク自動調整を手動で行う (☞P.14-33)
- 優先されたネットワークを探す (☞P.14-33)

オプションサービス

オプションサービスの種類は次のとおりです。

サービス	内容
留守番電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりします。 ・「着信お知らせ機能」を設定すると、電源を切っているときや圏外のかかってきた電話を通知画面でお知らせします (●P.3-19)。
転送電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。
割込通話サービス*	通話中の相手を保留にし、他の相手からの電話を受けたり、他の相手へ電話をかけることができます。また、相手を切り替えながら通話することもできます。
グループ通話サービス*	通話中に他の相手に音声電話をかけ、最大6人同時に通話できます。相手を切り替えながら通話することもできます。

サービス	内容
発着信規制サービス	電話をかけたり受けたりすることを、状況に合わせて制限できます。
発信者番号通知サービス	お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知にする設定ができます。

※サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。

注意

- ・電波の届かない場所では、本機からは操作できません。一般電話からの操作、サービスの詳細についてはソフトバンクモバイルホームページ (<http://www.softbank.jp>) でご確認ください。

留守番電話サービス

下記の転送条件に従って、かかってきた音声電話を留守番電話サービスセンターに転送します。
留守番電話サービスの種類は次のとおりです。

転送条件	内容
呼出なし	着信音を鳴らさずに、すべての着信を転送します。不在着信も記録されません。
呼出あり	設定した呼出時間内に電話に出なかったときや、通話中または圏外などのために電話がつながらないときに転送します。

注意

- ・留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。
- ・すでに転送電話サービスを設定しているときに留守番電話サービスを設定すると、転送電話サービスは解除されます。

留守番電話サービスを設定する

1 「メニュー」→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番On」

2 項目の選択操作

- すぐに転送電話につなぎたいとき
「呼出なし (0 秒)」
- 呼び出し時間を設定したいとき
「呼出あり (5-30 秒)」

・「呼出あり」で留守番電話サービスを設定したときは、着信中（呼出時間の設定秒数内）に電話に出ると、そのまま通話できます。また、着信中に「転送」をタップすると、すぐに留守番電話サービスセンターに転送できます。

留守番電話サービスを解除する

1 「メニュー」→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番・転送全て Off」→「はい」

注意

- ・転送電話サービスが設定されている場合も、解除されます。

留守番電話の伝言メッセージを聞く

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが録音されると、その旨の通知画面が表示され、ディスプレイに  が表示されます。



アイコンとメッセージでお知らせする

- 通知画面が表示されているとき
通知をタップ→目的の履歴の 
 - ・伝言メッセージの詳細情報を確認するときは、通知画面で通知をタップ→目的の履歴を選択します。
 - ・伝言メッセージを聞かずに通知画面を消すときは、「閉じる」をタップします。

- 通知画面が表示されていないとき
 - ・「メニュー」→「電話機能」→「留守番電話再生」→「発信」または  (1 秒以上) →「1416」を入力→ 

- ・ガイダンスに従って数字を入力するときは、 を押してキーボードを表示してから数字をタップします。
- ・本機から伝言メッセージを聞き、ガイダンスに従ってメッセージを消去すると、ディスプレイの  が消えます。

着信お知らせ機能を設定する

留守番電話サービス設定中に、電波の届かない場所や電源が入っていなかったために受けられなかった着信があったときは、通知画面でお知らせします。また、通話中に留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりした場合もお知らせします。

1  (1 秒以上) →「1414」を入力→ 

2 ガイダンスに従って操作

- ・「通話サービス」の「着信お知らせ機能」からも設定できます。
- ・通知された内容は、着信履歴として管理されます。
- ・着信お知らせ機能は、通話料無料で設定できます。

使いこなしチェック!

設定

- 呼び出し時間なしで留守番電話サービスを開始する (☞P.14-6)
- 呼び出し時間を設定して留守番電話サービスを開始する (☞P.14-6)
- 留守番電話サービス/転送電話サービスを解除する (☞P.14-6)
- 留守番電話サービス/転送電話サービスの設定を確認する (☞P.14-6)
- 留守番電話の伝言メッセージを聞く (☞P.14-6)
- 着信お知らせ機能を設定する (☞P.14-6)

転送電話サービス

あらかじめ設定した転送条件（☉P.3-20）に従って、かかってきた電話を別の電話番号に転送します。転送は、着信種別（音声電話、TV コール）ごとに設定できます。

注意

- 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに留守番電話サービスを設定しているときに転送電話サービスを設定すると、留守番電話サービスは解除されます。

転送電話サービスを開始する／終了する

サービスを設定するときは転送先を指定します。「音声／TV コール」「音声通話」「TV コール」から、それぞれ転送先を指定することができます。

1 «メニュー»→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「転送 On」／「留守番・転送全て Off」

- 解除の場合は、確認メッセージが表示されますので、「はい」をタップします。手順は終了です。

注意

- 留守番電話サービスが設定されている場合も、解除されます。

2 「音声／TV コール」／「音声通話」／「TV コール」

3 「呼出なし（0秒）」／「呼出あり（5-30秒）」

4 転送先の設定操作

- 前回の転送先を設定するとき
「前回転送先番号」→電話番号を選択
- 電話帳から転送先を設定するとき
「電話帳」→電話帳を検索し、選択（☉P.2-22）→電話番号を選択
- 電話番号を入力して設定するとき
「番号入力」→電話番号を入力

• 「呼出あり」で転送電話サービスを設定したときは、着信中（呼出時間の設定秒数内）に電話に出ると、そのまま通話できます。また、着信中に«転送»をタップすると、すぐに転送できます。

使いこなしチェック!

設定

- 転送電話サービスを設定する（☞P.14-6）
- 留守番電話サービス／転送電話サービスを解除する（☞P.14-6）
- 留守番電話サービス／転送電話サービスの設定を確認する（☞P.14-6）

割込通話サービス

サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。このサービスは、音声電話のみご利用いただけます。

割込通話サービスを設定／解除する

1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「割込通話」

2 「On」／「Off」

• 操作 1 のあと、「設定確認」を選択すると現在の設定を確認できます。

割込通話を受ける

通話中に着信があったときは、割り込み音と画面表示でお知らせします。通話中の電話を保留にして、あとからかかってきた電話を受けることができます。

1 割り込み音が聞こえたら ≪通話保留して応答≫／ ≪通話終了して応答≫

-  を押して、電話を受けることも可能です。
- 現在の通話を保留にして、あとからかかってきた電話に出るときは≪通話保留して応答≫をタップします。
- 現在の通話を切って、あとからかかってきた電話に出るときは≪通話終了して応答≫をタップします。

2 相手を切り替えるときは、 ≪グループ通話機能≫

3 通話相手の切替操作

- グループ通話に切り替えるとき
「グループ通話に切替」
- 通話相手を切り替えるとき
「通話相手を切替」
- 相手を選択して通話を切るとき
「個別に通話を終了」→通話を切りたい相手の
- すべての通話を切るとき
「全ての相手と終話」

- 割込通話中に通話中の相手が電話を切ったときは、「保留」をタップすると、保留にしていた相手との通話になります。
- 転送電話サービスや留守番電話サービスを設定している場合に割り込みに応答しなかったときは、転送先または留守番電話サービスセンターに転送されます。転送条件を「呼出し」に設定していると、割込通話サービスをご利用になれません。

使いごなしチェック!

設定

- 割込通話サービスを開始／解除する (☎ P.14-6)
- 割込通話サービスの設定を確認する (☎ P.14-6)

グループ通話サービス

サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。最大6人まで同時に通話できます。

通話中に別の相手に電話をかける

相手につながると、それまで通話していた相手は保留になります。

1 通話中に《ダイヤル》→電話番号を入力

- 電話帳から選択するときは、《電話帳》→電話帳を検索し、選択(☎P.2-22)→電話番号を選択します。
- お気に入りから選択するときは、《お気に入り》→電話をかける相手のを選択します。

2 / 《発信》→つながったら通話

- 3人目以降に電話をかける場合は、グループ通話中でのみ可能です(保留中の相手がいるときはできません)。

通話相手を切り替える

1 複数の相手と通話中に《グループ通話機能》→「通話相手を切替」

- 通話中の相手が電話を切っても、保留中の相手は保留状態のままです。保留中の相手と通話するには、「保留」をタップして保留を解除します。

すべての相手と通話する

1 複数の相手と通話中に《グループ通話機能》→「グループ通話に切替」

- 個別通話に切り替えるには、通話中に《グループ通話機能》→「個別通話に切替」→通話したい相手のをタップします。

- すべての通話を切るには、通話中に《グループ通話機能》→「全ての相手と終話」を選択します。
- グループ通話中に相手が電話を切ったときは、残された相手との通話になります。

使いこなしチェック!

 **便利** (☎P.3-28)

- グループ通話中に相手を選択して通話を切りたい

発着信規制サービス

音声電話やTVコールの発着信、SMSの送受信を、次の規制内容で制限できます。

設定項目	内容
発信規制	
全発信規制	緊急通話以外、電話をかけられない、またはSMSを送信できないようにします。
滞在国外規制	滞在国外へ電話をかけられない、またはSMSを送信できないようにします。
日本/滞在国外規制	滞在国外と日本以外の国へ、国際電話をかけられない、またはSMSを送信できないようにします。
着信規制	
全着信規制	すべての電話を受けられない、またはSMSを受信できないようにします。
国際着信規制	滞在国外からの電話を受けられない、またはSMSを受信できないようにします。

- 設定時には、発着信規制用暗証番号（ご契約時の4桁の暗証番号）の入力が必要です。発着信規制用暗証番号は変更することもできます（☎P.3-24）。
- 発信規制中に電話をかけようとすると、発信規制中である旨のメッセージが表示されます。お客様がご利用になる地域によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。

注意

- 発着信規制用暗証番号の入力を3回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定や解除ができなくなります。この場合は、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（☎P.15-28）までご連絡ください。
- 転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときは、「全発信規制」および「全着信規制」はご利用になれません（転送電話サービスまたは留守番電話サービスが優先されます）。

発信規制／着信規制を設定／解除する

発信規制および着信規制は、通話や通信の種類ごとに設定できます。

- 1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「発着信規制」
- 2 規制内容の選択操作
 - 発信規制を選択するとき
「発信規制」→「全発信規制」／「滞在国以外規制」／「日本／滞在国以外規制」
 - 着信規制を選択するとき
「着信規制」→「全着信規制」／「国際着信規制」
- 3 「On」／「Off」
- 4 規制暗証番号を入力→
≪ OK ≫

発着信規制の制限をすべて解除する

発信規制および着信規制の制限をすべて解除します。

- 1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「発着信規制」
- 2 「規制全停止」
- 3 規制暗証番号を入力→
≪ OK ≫→「はい」

発着信規制の設定状況を確認する

- 1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「発着信規制」
- 2 「設定確認」→「全発信規制」／「滞在国以外規制」／「日本／滞在国以外規制」／「全着信規制」／「国際着信規制」

発着信規制用暗証番号を変更する

- 1 「メニュー」→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「発着信規制」→「規制暗証番号」
- 2 現在の規制暗証番号を入力→「OK」
- 3 新しい規制暗証番号を入力→「OK」
- 4 もう一度新しい規制暗証番号を入力→「OK」

使いこなしチェック!

設定

- 発信規制を設定する (☎P.14-6)
- 着信規制を設定する (☎P.14-6)
- 発着信規制の制限をすべて解除する (☎P.14-6)
- 発着信規制の設定を確認する (☎P.14-6)
- 発着信規制用暗証番号を変更する (☎P.14-6)

発信者番号通知サービス

お客様の電話番号を相手に通知するかどうか設定するサービスです。

発信者番号の通知／非通知を設定する

- 1 「メニュー」→「設定」→「通話設定」→「発信者番号通知」
- 2 「通知する」／「通知しない」

- 操作 1 のあと、「設定確認」を選択すると現在の設定を確認できます。
- 本サービスの設定にかかわらず、発信することに電話番号を通知／非通知にできます (☎P.3-24)。

使いこなしチェック!

設定

- 発信者番号の通知／非通知を設定する (☎P.14-10)

便利な機能

便利

電話に関する便利な機能

入力した電話番号を電話帳に登録したい
【電話帳登録】

 (1秒以上) → 電話番号全桁 (市外局番を含む) を入力 → 「電話帳登録」 → (☎P.2-28 電話番号を入力してから登録したい)

入力した電話番号を宛先としたメールを作成したい
【メール作成】

 (1秒以上) → 電話番号全桁を入力 → 「その他」 → 「メール作成」 → 「S!メール」／「SMS」 → (☎P.4-5 S!メールを作成・送信する ⑤、P.4-8 SMSを作成・送信する ⑤)

自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい
【番号非通知】／【番号通知】

 (1秒以上) → 電話番号全桁 (市外局番を含む) を入力 → 「その他」

■ 番号を非通知にするとき

「番号非通知」 → 

■ 番号を通知するとき

「番号通知」 → 

- 指定しない場合は、発信者番号通知サービスの設定に従います。
-  (1秒以上) → 「186」を入力 → 相手の電話番号を入力 →  と操作しても、通知して電話をかけることができます。

- ☎ (1秒以上) → 「184」を入力 → 相手の電話番号を入力 → ☎ と操作しても、非通知で電話をかけることができます。

音声の送信を設定したい 【ミュート】

通話中に「ミュート」

- 通常の通話に切り替えるときは通話中にもう一度「ミュート」をタップします。

通話中にスピーカーホン通話に切り替えたい 【スピーカー】

通話中に「スピーカー」 → 「はい」

- 通常の通話に切り替えるときは通話中にもう一度「スピーカー」をタップします。

小さい声で通話したい 【ささやき】

通話中に「ささやき」

- 「ささやき」に設定すると、小さい声でも相手に大きな音声で伝えられます。
- 通常の通話に切り替えるときは通話中にもう一度「ささやき」をタップします。

ヘッドセットでの通話と本体での通話を切り替えたい 【ヘッドセット】

通話中に「ヘッドセット」

- Bluetooth® 対応のヘッドセットをご利用の場合に切り替えることができます。

通話中に電話帳を検索したい 【電話帳】

通話中に《電話帳》 → (☎P.2-22 電話帳を検索する ③)

通話中にお気に入りを検索したい 【お気に入り】

通話中に《お気に入り》 →   → 目的のお気に入りを選択

通話中に各種機能进行操作したい 【その他】

通話中に《その他》

- **ブッシュトーン送信をするとき**
「ブッシュトーン送信」 → ダイヤルキーをタップ → 《送信》
- **通話履歴／ランキングを確認するとき**
「通話履歴」 → (☎P.3-12)
- **オーナー情報を確認するとき**
「オーナー情報」 → (☎P.1-18)
- **カレンダーを確認するとき**
「カレンダー」 → (☎P.10-4)
- **メモ帳を確認するとき**
「メモ帳」 → (☎P.10-15)
- **メールメニューを表示するとき**
「メール」 → (☎P.4-1)
- **Yahoo! ケータイのメニューを表示するとき**
「Yahoo! ケータイ」 → (☎P.5-3)
- **PC サイトブラウザのメニューを表示するとき**
「PC サイトブラウザ」 → (☎P.5-4)
- **アラームを確認するとき**
「アラーム」 → (☎P.10-3)
- **電卓で計算するとき**
「電卓」 → (☎P.10-13)

- **通貨・単位換算をするとき**
「通貨・単位換算」 → (☎P.10-14)
- **ユーザー辞書に語句を追加するとき**
「辞典」 → (☎P.2-17)

便利**TV コールに関する便利な機能**

自分の電話番号を通知するかどうかを設定して TV コールをかけたい

【番号非通知】 / 【番号通知】

 (1 秒以上) → 電話番号全桁 (市外局番を含む) を入力 → «その他»

■ 番号を非通知にするとき

「番号非通知」 → «TV コール»

■ 番号を通知するとき

「番号通知」 → «TV コール»

•  (1 秒以上) → 「186」を入力 → 相手の電話番号を入力 → «TV コール» と操作しても、通知して電話をかけることができます。

•  (1 秒以上) → 「184」を入力 → 相手の電話番号を入力 → «TV コール» と操作しても、非通知で電話をかけることができます。

外側カメラ / 内側カメラを切り替えたい

TV コール中に 

自画像の送信を一時停止 / 再開したい

TV コール中に  / 

自画像を拡大 / 縮小したい

TV コール中に  → ズームを調整

送信する映像の明るさを調節したい

TV コール中に  → 明るさを調節

送信する映像の色調を調節したい

TV コール中に  → 項目を選択

**TV コール中に音声の送信を設定したい
【ミュート】 / 【ミュートオフ】**

TV コール中に «ミュート» / «ミュートオフ»

- TV コール中に «その他» → 「設定」 → 「私の音声ミュート」の「On」 / 「Off」を選択しても、ミュートを切り替えることができます。

TV コール中にスピーカーホン通話に切り替えたい**【スピーカー On】 / 【スピーカー Off】**

TV コール中に «スピーカー On» / «スピーカー Off»

- 「スピーカー On」にする場合は確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとスピーカーホン通話に切り替わります。
- TV コール中に «その他» → 「設定」 → 「スピーカー」の「On」 / 「Off」を選択しても、スピーカーホン通話を切り替えることができます。

TV コール通話を保留にしたい 【保留】

TV コール中に «保留»

- 保留中は「通話中保留」で設定した画像が送信され、双方の音声は聞こえなくなります。
- 通話に戻るときは、保留中に «再開» をタップします。

送信する画像を切り替えたい**【自画像切替】**

TV コール中に «その他» → 「自画像切替」

■ 自画像に切り替えるとき

「カメラ」

■ 代替画像に切り替えるとき

「代替画像」

■ 送信する画像を選択するとき

「画像送信」 → 「ピクチャー」 / 「デジタルカメラ」 → 送信したい画像を選択 → «OK»

- メモリカードを取り付けているときに、「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択できます。

TV コール中の画像の表示を切り替えたい**【表示切替】**

TV コール中に «その他» → 「表示切替」

- 自画像と相手画像の表示位置を切り替えることができます。

相手画像を一時停止 / 再生したい**【相手画像一時停止】 /****【相手画像再生】**

TV コール中に «その他» → 「相手画像一時停止」 / 「相手画像再生」

ヘッドセットでの通話と本体での通話を切り替えたい

【ヘッドセットで通話】／【本体で通話】

TV コール中に《その他》→「ヘッドセットで通話」／「本体で通話」

- Bluetooth® 対応のヘッドセットをご利用の場合に切り替えることができます。

自画像の代わりに送信する画像を設定したい

TV コール中に《その他》→「設定」→「代替画像」

■ お買い上げ時の画像に戻すとき

「固定データ」→《OK》

■ データフォルダから画像を選択するとき

「ピクチャー」／「デジタルカメラ」→送信したい画像を選択→《OK》

- メモリカードを取り付けているときに、「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択できます。

TV コール中の相手画像の画質を調整したい

TV コール中に《その他》→「設定」→「受信画質」→項目を選択

TV コール中の自画像の画質を調整したい

TV コール中に《その他》→「設定」→「送信画質」→項目を選択

通話／応答保留中に送信する画像を設定したい

TV コール中に《その他》→「設定」→「保留設定」→「通話中保留」／「応答保留」

■ お買い上げ時の画像に戻すとき

「固定データ」→《OK》

■ データフォルダから画像を選択するとき

「ピクチャー」／「デジタルカメラ」→送信したい画像を選択→《OK》

- メモリカードを取り付けているときに、「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択できます。

TV コール中のバックライトの明るさを設定したい

TV コール中に《その他》→「設定」→「バックライト」の「On」／「Off」

- TV コール中のディスプレイの明るさを設定します。「Off」に設定するとディスプレイは「On」の設定時より暗くなります。

再発信方法を設定したい

TV コール中に《その他》→「設定」→「再発信方法」→項目を選択

指定した相手からの TV コール着信を自動で受けたい

TV コール中に《その他》→「設定」→「自動応答」→「On/Off 設定」の「On」／「Off」

- 指定した相手から TV コールの着信があったときに、通知音でお知らせして自動的に電話を受けることができます。

TV コール着信を自動で受ける相手を指定したい

【追加】

TV コール中に《その他》→「設定」→「自動応答」→「自動応答リスト」→《追加》

■ 電話帳から選択するとき

「電話帳」→操作用暗証番号を入力→《OK》→電話帳を検索し、選択(⊙P.2-22)→電話番号を選択

■ 通話履歴から選択するとき

「通話履歴」→操作用暗証番号を入力→《OK》→「着信履歴」／「発信履歴」／「ランキング」→指定したい履歴／ランキングを選択

■ 電話番号を直接入力するとき

「直接入力」→操作用暗証番号を入力→《OK》→電話番号を入力

- 指定した相手から TV コールの着信があったときに、通知音でお知らせして自動的に電話を受けることができます。

TV コール着信の自動応答に指定した相手を削除したい

【削除】

TV コール中に《その他》→「設定」→「自動応答」→「自動応答リスト」→《削除》→削除したい電話番号をチェック→《削除》→「はい」

TV コール発信時に自画像を送信するかどうか設定したい

TV コール中に《その他》→「設定」→「自画像送信」の「On」／「Off」

- 現在通話中の TV コールには設定が反映されません。次回の TV コールから設定が反映されます。

プッシュトーンを送信したい

【プッシュトーン送信】

TV コール中に《その他》→「プッシュトーン送信」→ダイヤルキーをタップ→《送信》

- 電話帳の番号から送信するときは、「プッシュトーン送信」を選択したあと、《電話帳検索》→電話帳を検索し、選択(②P.2-22)→電話番号を選択→《送信》をタップします。

TV コール中にメモを作成し、保存したい

【メモ】

TV コール中に《その他》→「メモ」→メモを入力→カテゴリ欄を選択→カテゴリを選択→《保存》

TV コール中に電話帳を検索したい

【電話帳】

TV コール中に《その他》→「電話帳」→(②P.2-22 電話帳を検索する ③)

通話中にメールを作成したい

【メール作成】

TV コール中に《その他》→「メール作成」→「S! メール」/「SMS」→(②P.4-5 S! メールを作成・送信する ②、P.4-8 SMS を作成・送信する ②)

便利

通話履歴／ランキングに関する便利な機能

通話履歴／ランキングからメールを作成したい

 → 「着信履歴」 / 「発信履歴」 / 「ランキング」 → 宛先にしたい履歴／ランキングを選択 →  → 「S! メール」 / 「SMS」 → (②P.4-5 S! メールを作成・送信する ⑥、P.4-8 SMS を作成・送信する ⑥)

通話履歴／ランキングの電話番号が登録されている電話帳の詳細画面を確認したい

【電話帳詳細】

 → 「着信履歴」 / 「発信履歴」 / 「ランキング」 → 確認したい履歴／ランキングを選択 → 《電話帳詳細》

通話履歴／ランキングの電話番号を電話帳に登録したい

【電話帳登録】

 → 「着信履歴」 / 「発信履歴」 / 「ランキング」 → 登録したい履歴／ランキングを選択 → 《電話帳登録》 → (②P.2-21 通話履歴から電話帳に登録する ④)

通話履歴／ランキングの電話番号を着信拒否リストに追加したい

【拒否リスト追加】

 → 「着信履歴」 / 「発信履歴」 / 「ランキング」 → 着信拒否リストに追加したい履歴／ランキングを選択 → 《拒否リスト追加》 → 「はい」

便利

グループ通話サービスに関する便利な機能

グループ通話中に相手を選択して通話を切りたい

【個別に通話を終了】

グループ通話中に《グループ通話機能》→「個別に通話を終了」→通話を切りたい相手の 

グループ通話中にすべての通話を保留にしたい

【保留】

グループ通話中に《グループ通話機能》→「全て保留」

- 保留を解除するには、《グループ通話機能》→「再開」を選択します。